

1 本プロジェクトが目指すもの

■ 前 提

成果の社会実装の際、本県の産業・技術開発の課題に対して大きく裨益すること。

■ IV期からの主な変更点

- (1) 参画機関の拡大(海外、県外も可)
- (2) 研究目標フェーズに応じた複数の応募枠
- (3) 海外第三者機関によるハンズオン支援

■ 研究対象分野 (キーワード)

① マニュファクチャリング
(次世代自動車、航空宇宙、ロボット等)

② ヘルスケア
(AI 医療機器、フレイル対策、健康長寿等)

③ アグリ・フィッシュ
(生産性向上、気象・海象予測、養殖技術等)

共通基盤
④カーボンニュートラル
(水素、アンモニア、次世代バッテリー、バイオ燃料等)

生成AI・ビッグデータ、IoTなどデジタル技術の活用

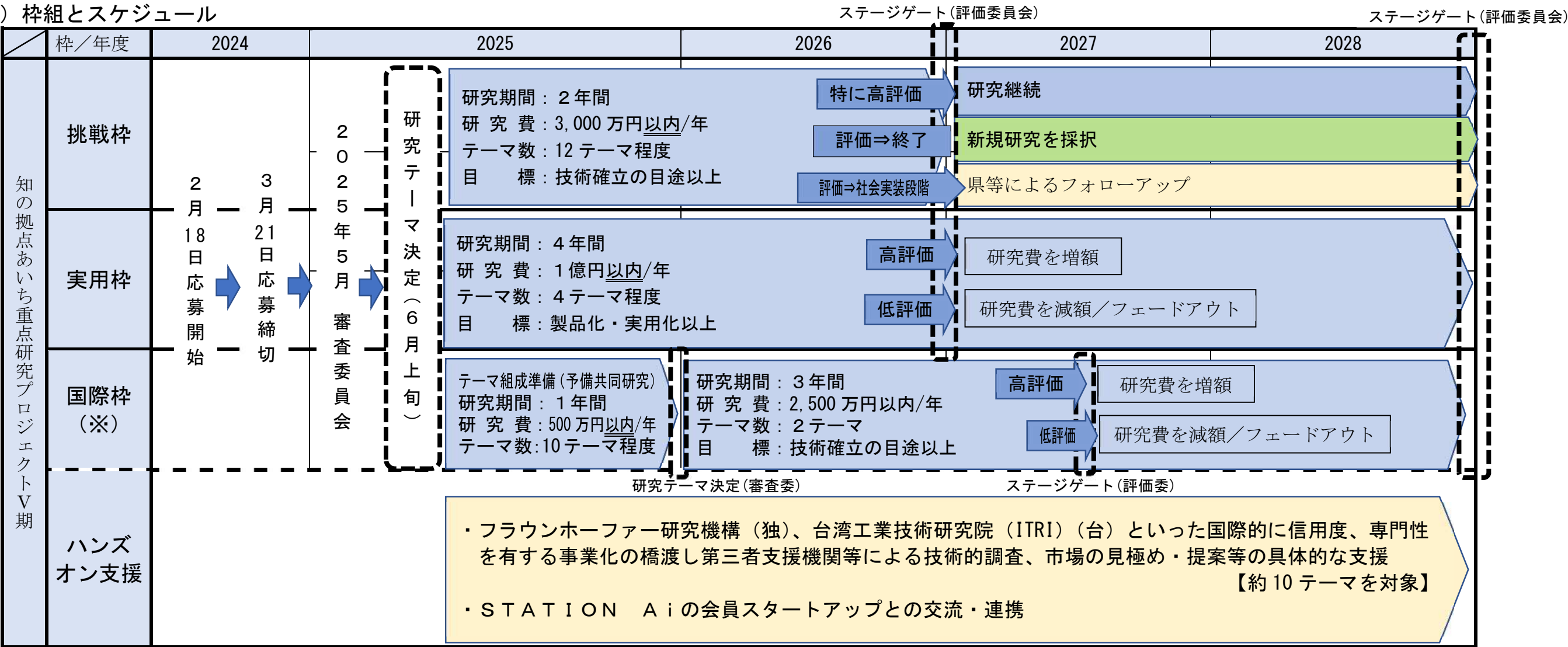
愛知発新技術により革新的イノベーションを創出。日本や世界の産業発展、脱炭素社会の実現に貢献

2 事業概要とスケジュール

(1) 研究チーム構成

愛知県内企業及び県内外大学等の研究機関で構成される産学連携による研究チーム
ただし、挑戦枠には愛知県内中堅・中小企業を必ず含むこと。

(2) 枠組とスケジュール



※ 国際枠：海外大学(例：シンガポール国立大学)と国内大学及び愛知県内企業の3者以上による研究プロジェクト。経済安全保障の観点から問題ないものであること。